

空き店舗をゼロから改修し、商品開発から販売までを担う 大学生が新潟県三条市の商店街再生に挑む 「三条中央商店街再生プロジェクト」8 月始動

総務省「令和 8 年度 ふるさとミライカレッジモデル実証事業」採択 / 新潟県三条市との連携事業

東洋学園大学(学校法人東洋学園 本部: 文京区本郷 理事長: 愛知太郎)の人間科学部「臨床心理学ゼミ」(堀口真宏教授)では、総務省「ふるさとミライカレッジモデル実証事業」(提案自治体: 新潟県三条市)の採択を受け、学生が地域の担い手として商店街再生に挑む実践型プログラム「三条中央商店街再生プロジェクト ～まちづくり×ビジネス開発プログラム～」を、2026 年 8 月 18 日より始動します。本プロジェクトは、三条市の地域事業者、ZEN 大学と協働し、地域資源を活かした商品開発から実際の販売検証までを担います。

■ 空き店舗の改修から商品開発、販売までを一貫して実践

新潟県三条市の中心市街地では、担い手不足と空き店舗の増加が進む一方、農産物や金物といった地域資源を「商売」として試し、継続につなげる場や仕組みが不足しています。交流イベントは行われてきたものの、店や担い手が増える循環が生まれにくいことが課題でした。本プロジェクトは、空き店舗を「製造×実証×都市接続」の拠点へと転換し、大学生の継続的な関与を積み重ねることで、将来的な出店や担い手の創出につながる基盤づくりを目指します。

【本プロジェクトのポイント】

■ 「体験」ではなく「実践主体」として参画

学生は見学者・体験者ではなく、商品開発から都市圏での販売検証までを担う「実践主体」として参画。ゼロから拠点を立ち上げ、ビジネスとして成立させるプロセスに当事者として挑みます。

■ 舞台となる商店街: 三条中央商店街

プロジェクトの舞台となる三条中央商店街は、長く営みを続けてきた老舗と、近年出店した若い店舗が共存する商店街です。多様な業態の店主が集い、歴史に裏打ちされた知恵と、新しい挑戦への熱量が交差しています。学生たちは、この「続ける力」と「始める力」が交わるリアルな現場で、店主たちの直接的なサポートを受けながら、実践的なフィールドワークを展開します。

■ 空き店舗の DIY 改修から自分たちの手で

活動拠点は、三条中央商店街にある空き店舗「旧小川洋装店」。かつて市民に親しまれた洋装店を、学生自らが DIY で改修し、製造・実証機能を備えた拠点(ラボ)へと生まれ変わらせます。

■ 「地方で開発し、都市で売り、地域へ還元する」循環モデル

三条で開発した商品を都市圏でテスト販売し、その反応を地域へ持ち帰る。交流にとどまらず、自走可能な「関係人口」を生み出す循環構造の実証に取り組みます。

■ ZEN 大学との大学間連携

本事業は ZEN 大学との連携により推進。異なる大学の学生が同じ現場で協働し、多様な視点から地域課題の解決に挑みます。

【実施概要】

プロジェクト名	三条中央商店街再生プロジェクト ～まちづくり×ビジネス開発プログラム～
主催・連携	東洋学園大学／ZEN 大学／新潟県三条市(提案自治体)
事業	総務省「令和8年度 ふるさとミライカレッジモデル実証事業」採択事業
場所	新潟県三条市(三条中央商店街・旧小川洋装店 ほか)
参加学生(予定)	東洋学園大学 学生 5 名(引率:堀口教授)ほか、連携大学の学生が参加予定

【全 3 回のフィールドワーク日程】

回	日程	内容・成果物
第 1 回	2026 年 8 月 18 日(火)～21 日(金)	地域資源調査・商店街ヒアリング・鍛冶体験・拠点整備／成果物:地域資源マップ・商品コンセプト案
第 2 回	2026 年 10 月 5 日(月)～11 日(日)	商品開発合宿(試作品開発・原価検証・試食会・ビジネスプラン立案)、拠点改修 DIY／成果物:試作品・価格設定案
第 3 回	2026 年 11 月 13 日(金)～16 日(月)	地元での販売検証・振り返り(三条マルシェでの販売を想定)／成果物:販売実績・次期展開プラン

■堀口真宏教授コメント

かつて地域の方々に親しまれた旧小川洋装店から、学生と商店街の新しい挑戦が始まります。学生たちは空き店舗を整えるだけではありません。商店街の方々の声を聞き、三条の農産物やものづくりの資源を掘り起こし、商品を考え、値段を決め、実際に売れるかどうかまで確かめます。

教室で学ぶだけでは経験できない、正解のない挑戦です。学生の発想と、長年地域を支えてきた方々の知恵が会ったとき、どのような商品や事業が生まれるのか。学生の提案は地域に受け入れられるのか。開発した商品は本当に売れるのか。空き店舗が、人と仕事、新たな挑戦が集まる場所へと変わっていく過程を、成功だけでなく、迷いや失敗も含めて見届けていただきたいと思います。

私たちが目指すのは、一度限りのイベントではありません。この取組を次の出店者や地域の担い手につなげ、学生と地域がともに試し、学び、次の一步を生み出す仕組みにすることです。三条中央商店街で進行する『地域再生のリアル』を多くの方に知っていただきたいと思います。

* 本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先 *

東洋学園大学 広報室 (担当: 清水)

電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-1964 e-mail: koho@of.tyg.jp <https://www.tyg.jp/>